

(オ) 課題番号5

課題分野：I	課題名：「ブランド認証制度によるイチゴのレベルアップと生産安定」	
対象：管内イチゴ生産者	計画期間：H27～29	
	農林振興事務所名：中部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
①ブランド化による有利販売支援 ②天敵製剤導入による生産安定推進	①検討会・大果生産研修会開催等 ②講習会・検討会の開催、展示圃設置、調査等	①販売先の確保 ②天敵製剤導入生産者数が9戸増加。

総合評価（コメント）
<p>A：4名</p> <ul style="list-style-type: none">■さらに魅力的な商品となるための支援をお願いします。本課題と並行して、一般消費者が普段自分が食するための果物に求める大きさや属性なども考え、普段、県民がたくさんいちごを食べられるような環境を作っていただければと思います。■インバウンド需要も考えられるなかで、ブランド商品を求める消費者の動向は高まっていくものと推測されることから、更なる取り組みの強化を図って頂きたい。県の推し進める戦略の中で、非常に重要な位置づけになっていると思われるので、頑張ってください。■イチゴのレベルアップにいい成果が出ていると思う。■奈良プレミアムセレクト「アスカルビー」が、消費者に受け入れられるのかを見守りたい。 <p>B：1名</p> <ul style="list-style-type: none">■新たな規格の提案も予定しているとのこと。今後明らかになるだろうブランド認証による有利販売の効果を見極めながら、全体としての収益率アップを図って行ってほしい。 <p>C：1名</p> <ul style="list-style-type: none">■デラックス商品規格の提案はプレミアムセレクトを確立をしてから取り組んではいかがですか。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none">■ <u>（ブランド認証の効果と全体としての収益アップ）</u> プレミアムセレクト商品は全出荷量の1%にも満たないが、この取組をきっかけに出荷組合全員意識を高品質生産に向け、産地全体の底上げを目指している。昨年「試行」、今年「本格的に取組開始」した段階なので、引き続きプレミアムセレクト商品の効果を見極めていく。■ <u>（デラックス商品規格の提案）</u> デラックス商品規格の提案は、今年のプレミアムセレクト商品の販売結果を検討し、次年度以降に行う予定。しかし、ブランド認証商品だけができ、産地（生産者）が変わらなければ、この取組の効果は期待できないと考えているので、具体的な取組として「摘果による大玉生産」や「デラックス商品規格」も並行して提案していきたい。